

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	急変や事故発生時など緊急時における対応を繰り返し研修し訓練を行っていく必要があります。	利用者の急変や事故発生に備えて全ての職員が初期対応の訓練や研修を定期的を受け、実践力と判断力を身につけることができる。	救急救命講習の受講、及び緊急時対応マニュアルの見直しと確認の研修を行います。さらにリスクマネジメントとヒヤリハットの活用により事故を未然に防止する取り組みの会議を継続していきます。	12ヶ月
2	35	防災対策のさらなる充実と地域や消防署との連携、報告、話し合いを継続して行っていく必要があります。	繰り返し防災訓練を実施し利用者の安全を図るとともに、日頃からの防災意識を高めれるようにします。地域との相談、協力により連携が図れるようにします。	年二回の避難訓練を実施し、消防署立ち会いのもと安全に避難できる方法を身につけます。防災研修を年一回行います。運営推進会議を活用し地域との相談、協力が得られるようにします。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。